

ボランティア・ビューロー窓口には、多くのボランティア情報を用意しています！お気軽に足を運んでください。

千代田区一斉清掃

ボランティア・ビューローでは毎年、「千代田区一斉清掃の日」に合わせたおそうじボランティアを行なっています。
11月6日(火) あおぞら銀行と合同で、朝8時からキャンパス周辺のゴミ拾いを行いました。
授業前に地域の美化に貢献された参加者の皆様、大変お疲れさまでした。



おそうじ用具を貸し出しています！

真田堀などでゴミのポイ捨てなどが散見される中、自主的なゴミ拾いを行なう課外活動団体や学生の皆さんに、ゴミ拾いの道具を貸出します。
空き時間を有効活用して、キャンパス周辺のクリーンな環境をみなさんと保ちませんか？
予約不要です。
希望者は学生センター⑧窓口までお越しください。



- 貸出物品
ゴミ拾い用トンゴ、軍手、上智大学ピブス (着用は任意です)
- 支給物品
マスク、ゴミ袋

みちのくRenaissanceが、釜石発・甲子柿を使用したラテとソーダをソフィア祭で販売しました。

上智大学グローバル・コンサーン研究所では2013年度より東日本大震災被災地の原状を知る・学ぶ・考えるフィールドワーク企画「みちのくRenaissance」を開催しています。今年度のソフィア祭では上智大学復興支援活動助成金制度に採択された企画として、釜石発・甲子柿 (かつしがき) を使用したラテとソーダを販売し、3日間で289杯を売上げました。
販売で得た収益は甲子地区活性化協議会に還元し、釜石の地域創生に貢献したいと考えています。



←ブースでは現地の情報なども配布しました。

* 12月14日(金)に本学で催した甲子柿生産者藤井さんの講演会については、次号に掲載します。



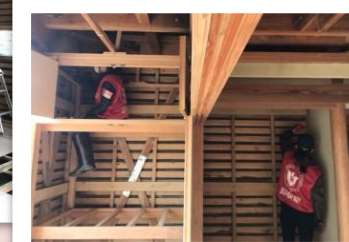
倉敷豪雨災害ボランティア派遣

今年9月に行なった第一弾に引き続き、12月1日(土)~2日(日)に9名、12月8日(土)~9日(日)に8名の学生が、岡山県倉敷ボランティアセンターで平成30年7月豪雨災害の復興支援活動をしました。



●まびいきまきプラザでオリエンテーション

亡くなられた方々の冥福を祈って、全員での黙とうから始まり、被災された方々の悲しみや心情に配慮して活動することを誓いました。



●現場での作業

今回は二階まで浸水した家屋で、木材の周りに残っている土を丁寧に剥ぎ取る作業を行いました。一見地味な作業ですが、この後リフォームを行う上でカビの発生を防ぐ重要な工程で、天井から床まで高低も様々あり、根気のいる作業でした。

●地域の方々のやさしさ

昼食時には、被災された家主の方が差入れをたくさん振舞って下さいました。午前中より黙々と作業をしてきた中で、とても和やかな雰囲気になりました。また、送迎ボランティアの方には、近隣の案内もいただきました。
「どうして来てくれたの?」「本当に有難い」というお言葉に、皆がそれぞれ今回参加した意義を噛みしめました。



●まるみ麴本店でのお話

8日には参加者のうち4名が今回の豪雨被害を受けた後に営業を再開された岡山県総社市にある有限会社まるみ麴本店を訪問し、豪雨の翌日から駆けつけてくれたボランティアの方々(元々のお客様や地元の高校生達)のお話やみそを作る行程などをお聞きました。



○予告

2018年度秋学期上智大学復興支援企画は、平成30年夏・自然災害報道写真展 (共催: 朝日新聞社) と倉敷ボランティア報告展示を2号館1階エントランス展示スペースにて行います。

期間: 1月8日(火)~14日(月)

9日は岡山県産のお味噌や野菜を使用したチャリティー味噌汁販売

10日、11日には、岡山県立倉敷商業高等学校書道部の作品を展示します。